

大蔵省汚職ノーパーンしゃぶしゃぶが意味する倫理感

今回やっと世の中が変わるきっかけとなる、大蔵省の牙城に手が入った。然しそこで飛び出した「ノーパーンしゃぶしゃぶ」と呼ぶ会員制風俗店には驚いた。

マスコミは意味不明の名词を使わず正確に「5000円から10000円支払えば、ノーパーンでサービスをするしゃぶしゃぶを中心とした飲食店」と言うべきである。正にこれは覗き趣味であり、高校野球の応援をするパト娘を巡る覗きセクハラと同次元のレベルである。口にするのも恥ずかしい行為で、私も今ワープロを打ちながら腹が立っている。しかし物事をはっきりさせ明確に抗議をしなければ、事実が浮かび上がらない。単に接待を強要したというだけでなく、品性がないと言うことをも強く抗議するべきである。

チップを払えば、上から降りてくる肉を見えるように取ってくれるのだ、という話をした時、うちの会員でも何人か「俺も行きたい!」と言った。この一言を聞いていかに今の日本が恥じを知らぬか分かったのだ。覗きを平気でやりたいと言う神経、たぶんもし問い詰めたら「相手が納得の上なのだから…」と言うであろう。しかしそれは品性からすれば

違うであろう。このような基本的な倫理観欠如が大蔵省キャリアからうちの一部会員まで蔓延しているのだ。悲しくなってくる。これでは女子高校生売春も無くならない。そこで働く若い娘はたぶん《援助交際》をするような娘だろうから。

20年はど前、一時私も誰かに覗かれていたような気がして家中隠しカメラや盗聴器を捜し回ったことがある。見つかりはしなかったが、今“ストーカー”なる者も問題になっている。また昨年秋季からは声の出せないろう学校の女子生徒がJR総武線などで痴漢被害にあうという事件がおきている。学校側は「子供の障害につけ込んだ卑劣極まりない犯行で絶対に許せない!」と私服警官を配して犯人割り出しに全力を上げている。子供や知的障害者を狙った事件も後を断たない。帝京大ラグビー部の集団レイプ事件もある。

自分はそこまでしない、と思われるかも知れないが、今国会で子供の商業的性的搾取を根絶する為の特別立法が提出される。もし制定されれば東南アジアなどへの買春ツアーも提訴されることになるだろう。今一度胸に手を当てて、反省するべき事がないかどうか、じっと独りでお考え下さい。

「日本は核武装をしている」か? (3)

練馬区 板橋光紀

一会報2月号(2)からの続きですー

(二) 私はこれらの「発言」以外に「タイコンデロガ号水爆搭載機水没事件」を覚えている。これは1965年12月沖縄で訓練中に米空母タイコンデロガ号の甲板から、広島に落とされた原爆の50倍の威力といわれる水爆を搭載したA4Eスカイホーク攻撃機がパイロットを乗せたまま海中に転落し、回収出来なかった重大な核兵器事故で、ペンタゴンの暗号名が「ブロークンアロー」と呼ばれるものだ。後日グリーンピースによって暴露されたが、アメリカは30年以上経った今でもこれを公表していない。

これらの事柄はその度にマスコミに大きく取り上げられ、国会でも追及されて来た。しかし時が経つにつれてウニャムニャにされ、決着の就かぬ儘国民は忘れ去ろうとしている。

問題は野党の追及が「ヘタクソ」であること。マスコミの取材が不十分で淡泊すぎることに外に「記者クラブ制度」が災いして、ジャーナリストが役所に逆らうまいと云った、一種の癒着状態にある点を挙げねばならない。

更に我々国民が深刻に受けとめなければならないことは、ライシャワー発言(2)に含まれている「日本との口頭合意・・・」である。外国との交渉はたとえ民間企業間の商談でさえ、事務レベルの会談開始以前から「アジェンダ(会談の目次と手順)」及

び双方の主張すべき内容の骨子が書類で取り交わされ、各自の陣営で予め検討した上で会談に臨むものだ。「口頭によるもの」は昼食の好みや時間を決めるようなマイナーな確認事項に適用されるべきで、「水爆を持ち込んでよいかどうか」等、日本民族と周辺諸国の存亡にかかわる「巨大かつ極めて重大なテーマ」に於いて少数の役人の裁量によって処理がなされていることに平然としていられる為政者の神経には背筋が寒くなる。政官の「いいかげん」さが腹立しい。

とにかく、横須賀や沖縄等に出入りしているアメリカの艦船の多くに核兵器が積まれている事実、それらの核がいつでも発射できる状態にあること、それによって日本列島が核武装されていると近隣諸国に認識されてしまっている現実を認めざるを得ないところへ追い込まれている。日本政府がこれ以上はぐらかしたり、「無いものは無い」と強行突破を続ける愚は「ねずみを指して、色が同じだからこれは象の子供だ」と言い張るに似て、国民を欺き続けるだけでなく、我々外国で仕事をするビジネスマンの肩身を益々狭くする。この際、観念して「非核三原則」を「二原則に改宗」するか、核搭載のアメリカ艦船が領海へ入って来ることを、キッパリと断るか、「MAKE IT CLEAR」せねばならない。

<完>